

---

【番号・テーマ】 2. 交流・つきあい

【単元名】 フランス語を使い SMS でやりとりをしよう

【基本情報（実施時）】

授業時間・形態：200 分（4 コマ×50 分）

学習歴：初習 2 年目

クラスサイズ：

10 名以下     10～20 名     20～30 名     30 名以上

レベル：

A1.1                     A1                     A2                     B1

【授業の位置付け】 第二外国語、必修

【単元の目標】

- ・フランス語で約束をする。
  - ・SMS でやりとりをする。
  - ・フランスと日本の高校生の休日の過ごし方を比較する。
  - ・フランス人の使っている略語を知る。
  - ・フランスと日本の SMS を比較する。
-

**【具体的な学習事項】**

**[単元に該当する指標形式の目標]**

やりとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SMS を使い、その情報についての返答ができる。</li> <li>・SMS を使い、人を誘ったり、予定の提案ができる。</li> </ul>
------	---

**【具体的な評価規準】**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑問詞を用いた文の構造を理解し、適切に使える。</li> <li>・ 人を誘う表現、誘いを受け入れる、あるいは断る表現を理解し、適切に使える。</li> <li>・ フランス語での SMS のやり取りを読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑問詞を用いた文を書き、それに対する応答を書くことができる。</li> <li>・ 人を誘う表現、それに対する応答表現、誘いを適切に用いて、文字でやりとりすることができる。</li> <li>・ フランスで SMS の際に使う表現を学び実際に使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペアワークにおいて、間違いをおそれず、積極的に発話する。</li> <li>・ 文法、綴りの間違いがないかなどを積極的に探す。</li> <li>・ 日本とフランスの SNS 事情、休日の過ごし方などの比較を通して社会文化的な相違点類似点を見つける。</li> <li>・ 異文化に寛容になる。</li> </ul>

## 【目標とする言語項目と社会文化項目】

### 言語項目

省略語：slt, bjr, bsr, dak/dac, tjr, stp, pq, pcq, rdv, bcp, rstp, mdr, dmg, dsl

### 想定される既習事項

être 動詞, avoir 動詞, -er 動詞, -ir 動詞, 代名動詞, 近接未来と近接過去, 冠詞と縮約形, 疑問詞, 否定文, 時刻・天候の表現, 数字（1-100, 序数）, 曜日

### 社会文化項目

- ・日本とフランスでは SMS を送る場合に違いはあるのだろうか？
- ・日本とフランスでよく使用する SMS は同じだろうか？
- ・フランス語にも略語はある？
- ・日本人高校生とフランス人高校生の休日の過ごし方に違いはあるだろうか？

## 【授業資料】

### [第1次]

ワークシート①（誰かと約束するときに必要な表現用）

ワークシート②（メール作成用）

資料①（メールのモデル）

### [第2次]

ワークシート③（フランス語の略語）

資料②（フランス人高校生の書いた SMS）,

ワークシート①（誰かと約束するときに必要な表現用）

資料③（ループリック）

### [第3次]

ワークシート④（SMS 作成シート）

### [第4次]

ワークシート⑤（相互評価シート）

授業アンケート

## 【授業の過程】

### [第1次]

- ・ワークシート①で誰かと約束するときに必要な疑問詞を思い出す。
- ・資料①でフランス語のメールについてチェックする。
- ・ワークシート②で誰かを誘うメールを書く。

### [第2次]

- ・フランス語の略語について考え、ワークシート③で略語文字の内容を完成させる。
- ・資料②で実際にフランス人が書いた SMS をチェック。
- ・ワークシート①に人を誘うときの表現、誘われた時の表現について書きこむ。

### [第3次]

- ・ペアでワークシート④に SMS を作成する。
- ・出来上がった SMS を ipad で撮影する。

### [第4次]

- ・ipad で撮影した SMS をスクリーンに提示してペアで発表。
- ・ワークシート⑤で相互評価する。
- ・授業アンケートを書く。

### [第1次]

時間	生徒の学習活動	教師の活動および指導・支援	評価の観点・基準
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"><li>・週末によくすることで思いつくことを日本語で自由に述べる。</li><li>・PPT の絵をフランス語で表現する。</li><li>・日仏の週末の過ごし方について考える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・週末にすることを問う。</li><li>・週末によくすることの絵を PPT で提示し発言させる。出てこない場合はヒントを出しながら思い出させる。</li><li>・フランスの日曜日の過ごし方に興味をもたせる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・今回学習した項目を理解しているか。</li><li>・積極的に参加しているか。</li></ul>
展開 ① 05分	<ul style="list-style-type: none"><li>・誰かを誘うために必要な表現を考え、述べる(日本語でよい)。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・誰かを誘うために必要な表現について自由に発言させる。</li><li>・人を誘う表現や語彙を PPT で提示。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・説明を理解しているか。</li></ul>

展開 ② 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰かを誘うために必要な表現・語彙をフランス語で思い出す。</li> <li>*いつ、誰と、どこで、何時にワークシート①に書き込む。</li> <li>友人を誘うメールのモデル文を見る。</li> <li>日仏でメールを書く際の違いを考える。</li> </ul>	<p>ワークシート①を配布。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友人を誘うメールのモデルを提示。資料①を配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に参加しているか。</li> <li>関心を持っているか。</li> <li>正確に書こうとしているか。</li> </ul>
展開 ③ (23分)	<p><b>【メール作成】</b></p> <p>グループに分かれて、自由にメールをワークシート②に作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フランス語でメールを書く際の注意点をPPTで提示。</li> <li>資料①を配布</li> <li>ワークシート②配布。</li> <li>出だしと結びの表現を忘れないように指示。</li> <li>必要事項を忘れないように指示。</li> <li>難しいと感じている生徒には複雑なものでなくていいと励ます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明を理解しているか。</li> <li>関心を持っているか。</li> <li>積極的に参加しようとしているか。</li> </ul>
終わりに 2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成したメールの提出</li> <li>次回の確認</li> </ul>	<p>次回は今回作成したメールを参考に友人を誘うSMS作成の準備をすることを告げる</p>	

[第2次]

時間	生徒の学習活動	教師の活動および指導・支援	評価の観点・基準
導入 10分	<p><b>【今回の授業の目的を提示】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイントで前回の授業の復習</li> <li>各グループ、返却された自分たちの作ったメールも確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が机間巡視し、質問を受け付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回学習した項目を理解しているか。</li> <li>積極的に参加しているか。</li> </ul>

<p>展開 ① 20分</p>	<p>・パワーポイントで日仏様々な SNS の手段を確認。</p> <p>・パワーポイントでSMSを送る際の日仏省略語について考える。</p>	<p>・パワーポイントで日仏様々な SNS の手段を提示</p> <p>・自分たちの知っている SNS の手段について発言を促す。</p> <p>・日本語の略語について自由に発言させる。</p>	<p>・説明を理解しているか。</p> <p>・活動に参加しているか。</p> <p>・関心を持っているか。</p>
<p>展開 ② (15分)</p>	<p>・ワークシートに書き込む。</p> <p>・実際のフランス人の高校生の SMS でのやりとりを見て、気づいた点について話す。</p>	<p>・ワークシート③を配布。</p> <p>・PPT でフランス語の略語を提示・どのようなフランス語か、どのような意味か積極的に意見をいうように促す。</p> <p>・グループで考え、自由に発言するように促す。</p> <p>・資料②を配布。</p>	
<p>展開 ③</p>	<p>【ペアワーク (SMS 作成) の導入】</p> <p>・パワーポイントで以下の表現や語彙を学び、ワークシート①で第1次で埋まっていない部分を埋める。</p> <p><u>*人を誘う表現を覚える。</u></p> <p><u>*誘われたときの返事</u></p> <p><u>*疑問詞、質問文の復習。</u></p> <p><u>—どこに行くか</u></p> <p><u>—誰と行くか</u></p> <p><u>—何をするか</u></p> <p><u>—何時に行くか</u></p> <p><u>—どこで待ち合わせるか</u></p> <p><u>次回の確認。</u></p> <p>ループリックの確認。</p> <p>あいさつ</p>	<p>・ヒントを出しながら、生徒に考えさせ、思い出させる。</p> <p>・正確に書くように指示。</p> <p>・前回作成したメールを使い、友人を誘う SMS をつくることを告げる。</p> <p>・資料③を配布</p>	<p>・新しい表現復習項目を理解しているか。</p> <p>・正確に書こうとしているか。</p> <p>・説明を理解しているか。</p> <p>・関心を持っているか。</p>

[第3次]

時間	生徒の学習活動	教師の活動および指導・支援	評価の観点・基準
導入 復習 10分	<p>【今回の授業の目的を提示】</p> <p>本日の授業で行うことを確認し、前回の表現などの復習。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の作業となる SMS 作成の際に注意する点、また評価基準を確認、意識させる。</li> <li>・グループで前回のプリントを見ながら確認するように指示。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明を理解しているか。</li> <li>・関心を持っているか。</li> <li>・語彙/表現が定着しているか。</li> </ul>
展開 ① 作成 25分	<p>【ペアワーク (SMS 作成)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで SMS のやりとりをワークシート④を使い作成させる。</li> <li>・出来上がったら、i-pad で撮影して保存する。</li> <li>・出来上がったやりとりを発音してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート④の配布</li> <li>・教師が机間巡視し、作業が遅れている生徒のフォローをする。</li> <li>・正確にかけているかのチェックをするように指示を出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークができているか。</li> <li>・正確に書こうとしているか</li> </ul>
展開 ② 発表 5分	<p>【SMS の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つのチームの SMS を見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他グループの SMS をしっかり見るように指示を出す。</li> <li>・それ以外のチームは次回の授業で見ることを告げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループの発表を見ることに集中しているか。</li> <li>・活動に参加しているか。</li> </ul>
展開 ③ 話し 合い 5分	<p>【グループワーク (気づき)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の作業を通して気づいた点を話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことを積極的に話すように指示。</li> </ul>	
まとめ 5分	<p>【気づきの発表と次回作業の確認】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒を指名して発言を促す。</li> <li>・次回の発表をきちんと準備しておくよう提示。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人の意見を聞くことに集中しているか。</li> </ul>

[第4次]

時間	生徒の学習活動	教師の活動および指導・支援	評価の観点・基準
----	---------	---------------	----------

前回の復習 5分	前回作成した SMS をチェックし、発表の打ち合わせをする。	発表する際、実際に会話しているように話すようにアドバイスする。 机間巡視をしながら、発音などチェック。	積極的に参加しているか。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SMS の発表</li> <li>・他のグループが演じているとき、鑑賞しながら評価をワークシート④に書き込む。</li> <li>・他グループの SMS に間違いがないか探す。</li> <li>・自分たちのグループが演じ終わったら、評価ルーブリックを使って、自己評価する。</li> </ul>	<p>ワークシート⑤を配布。</p> <p>SMS が円滑に行われるように支援する。</p> <p>表現に詰まったりしたら、必要に応じて助ける。</p> <p>スクリーンに提示されている SMS に表現、文法的な間違いがあるか気づかせ、訂正する。</p>	評価ルーブリックで評価する。可能なら、学生間でもルーブリックで評価する
まとめ 5分	拠点授業に関するアンケートに回答する。	評価アンケート配布。 簡単にアンケートの説明をし、4 回分の研究授業についてアンケートで評価してもらおう。	